

令和7年度 事業報告書

特定非営利活動法人 富士山世界遺産国民会議

1 事業の成果

世界文化遺産富士山の保全とその普遍的価値の未来への継承のため、富士山の魅力の情報発信や新しく両県で足並みが揃った登山規制・システム登録に関連した啓蒙など、幅広いPR・啓発活動を展開した。富士山の保全に資する活動として「ふじさんゼロゴミアクション」を推進して富士山周辺の清掃とゴミを減らす啓蒙活動をこれまでも増して推進して、富士山の自然資源と文化的価値の保全と有効活用に実現に取り組んだ。また、富士山の文化・歴史や保全に係る調査を実施して、地域復興の推進を支援した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 31,521】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
世界遺産富士山の保全に向けた諸活動の推進事業	ホームページ、フェイスブック、インスタグラムで、タイムリーな富士山関連情報の発信を実施した。	通年	全国	10人	HPアクセス者、SNSフォロワー及び一般	2万人	8,540
	啓蒙メッセージを配したノベルティを制作して、山小屋組合、案内人組合、各種イベントなどで配布を実施した。	通年	山梨・静岡両県を中心に全国	10人	富士山周辺住民、イベント参加者及び一般	20万人	8,450
	「ふじさんゼロゴミアクション」の清掃活動とPRを推進した。	通年	山梨・静岡両県を中心に全国	10人	富士山周辺住民、イベント参加者及び一般	5万人	4,031
	「富士山ロングトレイル」構想で富士山の多様な楽しみ方の提案と保全活動を推進した。	通年	山梨・静岡両県を中心に全国	10人	全国の登山者・ハイカー	650万人	2,200
	富士山の文化・歴史復興、富士山保全に係る調査をした。	通年	山梨・静岡両県を中心に全国	10人	富士山周辺住民、イベント参加者及び一般	1万人	4,500
世界遺産富士山の保全に向けた基金運営事業	富嶽三十六プロジェクトの推進や協力企業の開拓により、富士山基金への寄付増大を図った。	通年	全国	8人	協力企業、HPアクセス者	1万人	3,800

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

令和7年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1 受取会費			210 000
正会員受取会費		210 000	
2 受取寄附金			24 086 227
一般寄附金		19 740 000	
基金寄附金		4 346 227	
3 受取助成金等			0
4 事業収益			0
5 その他の収益			36 132
雑収益		6 050	
受取利息		30 082	
経常収益計			24 332 359
【B】 経常費用			
1 事業費			2 467 750
(1) 人件費			
職員給料		2 145 314	
法定福利費		322 436	
(2) その他経費			29 054 073
PR活動費		5 158 804	
IT関連費		2 900 991	
会議費		106 369	
通信費		140 735	
荷造運賃		25 531	
旅費交通費		165 106	
消耗品費		35 750	
印刷費		158 059	
地代家賃		2 214 731	
リース料		95 885	
業務委託費		18 052 112	
事業費計			31 521 823
2 管理費			616 934
(1) 人件費			
職員給料		536 330	
法定福利費		80 604	
(2) その他経費			2 752 813
福利厚生費		239 303	
通信費		110 033	
旅費交通費		93 293	
接待交際費		54 188	
業務委託費		995 600	
消耗品費		236 902	
備品費		34 084	
新聞図書費		133 990	

地代家賃	553 682	
租税公課	5 600	
リース料	23 971	
支払手数料	91 075	
会議費	16 362	
保守料	38 500	
雑費	19 600	
減価償却費	106 630	
管理費計		3 369 747
経常費用計		34 891 570
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		(10 559 211)
【C】経常外収益		
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		(10 559 211)
法人税、住民税及び事業税・・・④		
前期繰越正味財産額・・・⑤		31 451 333
次期繰越正味財産額③－④+⑤		20 892 122

令和7年度 貸借対照表

特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	13 016 141	
	前払費用	271 768	
	仮払金	25 550	
	流動資産合計・・・①		13 313 459
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		110 428
	器具什器	110 428	
	(2)無形固定資産		569 019
	商標権	569 019	
	(3)投資その他の資産		7 405 048
	敷金	1 200 000	
	富士山基金特定預金	6 205 048	
	固定資産合計・・・②		8 084 495
【A】 資産合計 ①+②			21 397 954
【B-1】 負債の部			
1	流動負債		
	未払金	466 267	
	職員預り金	39 565	
	流動負債合計・・・③		505 832
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④			505 832
【B-2】 正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	31 451 333	
	当期正味財産増減額	(10 559 211)	
正味財産合計			20 892 122
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】			21 397 954

令和7年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 富士山世界遺産国民会議

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日/2011年11月20日一部改正/NPO法人会計基準協議会)によっている。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価は最終仕入原価法によるが、重要性の乏しいものは評価していない。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
建物付属設備及び什器備品の減価償却は定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
引当金計上の必要性がないため、計上していない。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受けた場合には活動計算書に計上する。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	富士山 世界遺産事業	事業	事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	210 000				210 000	0	210 000
2. 受取寄附金	24 086 227				24 086 227	0	24 086 227
3. その他収益	36 132				36 132	0	36 132
経常収益計	24 332 359				24 332 359	0	24 332 359
II 経常費用							
(1) 人件費							
職員給料	2 145 314				2 145 314	536 330	2 681 644
法定福利費	322 436				322 436	80 604	403 040
人件費計	2 467 750	0	0	0	2 467 750	616 934	3 084 684
(2) その他経費							
福利厚生費	0				0	239 303	239 303
PR活動費	5 158 804				5 158 804	0	5 158 804
IT関連費	2 900 991				2 900 991	0	2 900 991
会議費	106 369				106 369	16 362	122 731
通信費	140 735				140 735	110 033	250 768
荷運賃	25 531				25 531	0	25 531
旅費交通費	165 106				165 106	93 293	258 399
接待交際費	0				0	54 188	54 188
消耗品費	35 750				35 750	236 902	272 652
印刷費	158 059				158 059	0	158 059
地代家賃	2 214 731				2 214 731	553 682	2 768 413
リース料	95 885				95 885	23 971	119 856
業務委託費	18 052 112				18 052 112	995 600	19 047 712
備品費	0				0	34 084	34 084
新聞図書費	0				0	133 990	133 990
租税公課	0				0	5 600	5 600
支払手数料	0				0	91 075	91 075
保守料	0				0	38 500	38 500
雑費	0				0	19 600	19 600
減価償却費	0				0	106 630	106 630
その他経費計	29 054 073				29 054 073	2 752 813	31 806 886
経常費用計	31 521 823				31 521 823	3 369 747	34 891 570
当期経常増減額	-7 189 464				-7 189 464	-3 369 747	-10 559 211

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りである。
当法人の正味財産は20,892,122円であるが、そのうち6,205,048円は、下記のように用途が特定されている。
したがって用途が制約されていない正味財産は14,687,074円である。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
富士山基金	14 527 096	4 357 250	12 679 298	6 205 048	当期増加額のうち11,023円は、富士山基金特定預金の受取利息分である。
合計	14 527 096	4 357 250	12 679 298	6 205 048	

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	2 052 612			2 052 612	1 942 184	110 428

無形固定資産						
商標権		573 800		573 800	4 781	569 019
投資その他の資産						
敷金	1 200 000			1 200 000		1 200 000
富士山基金特定預金	14 527 096	4 357 250	12 679 298	6 205 048		6 205 048
合計	17 779 708	4 931 050	12 679 298	10 031 460	1 946 965	8 084 495

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし				
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りである。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取会費	210 000	40 000
受取寄附金	24 086 227	5 970 000
PR活動費	5 158 804	289 562
活動計算書計	29 455 031	6 299 562
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

事業費と管理費に共通する経費のうち、派遣職員費、職員給料、法定福利費のうちの社会保険料、通信費、地代家賃、リース料は従事割合に基づき按分している。

・ その他の事業に係る資産の状況

該当なし

令和7年度 財産目録

特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1 流動資産				
	現金預金		13 016 141	
	現金	17 760		
	みずほ銀行築地支店普通預金	12 998 381		
	前払費用		271 768	
	前払家賃	229 601		
	ソリマチ㈱	38 500		
	東京センチュリーリース㈱	3 667		
	仮払金		25 550	
	年末調整還付金	25 550		
流動資産合計・・・①				13 313 459
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
什器備品				
	会議室用大テーブル	1		
	シュレッダー	1		
	液晶薄型テレビ	1		
	デスクトップPC	1		
	ノートPC	1		
	デスクトップPC	1		
	レノボPC	1		
	ノートPC	1		
	電話・LAN工事一式	101 031		
	スマートフォン一式	9 389		
(2) 無形固定資産				569 019
	商標権	569 019		
(3) 投資その他の資産				
敷金				
	法人事務所	1 200 000		
	富士山基金特定預金			
	ゆうちょ銀行	1 557 744		
	静岡銀行東京営業部普通預金	1 472 826		
	みずほ銀行虎ノ門支店普通預金	1 626 218		
	山梨中央銀行東京支店普通預金	1 548 260		
固定資産合計・・・②				8 084 495
【A】資産合計 ①+②				21 397 954
【B-1】負債の部				
1 流動負債				
未払金				
	職員給与等	225 865	466 267	
	社会保険料	67 144		
	通信費	10 425		
	インスタグラム運営費	151 800		
	業務委託費	5 000		
	コピー代	6 033		
	職員預り金		39 565	
	社会保険料	32 780		
	労働保険料	2 385		
	住民税	4 400		
流動負債合計・・・③				505 832
2 固定負債				
固定負債合計・・・④				
【B-1】負債合計 ③+④				505 832
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】				20 892 122

令和7年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○理事・監事	オダ ゼンコウ	令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小田 全宏		
2	○理事・監事	タカノ ユリ	令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		高野 友梨		
3	○理事・監事	シダ シュウサク	令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		養田 秀策		
4	○理事・監事	ワカバヤシ ヤスヒロ	令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		分林 保弘		
5	○理事・監事	ニシムラ ユキオ	令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		西村 幸夫		
6	○理事・監事	コニシ ヒデマサ	令和7年1月1日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小西 英麿		
7	○理事・監事	ヒラバヤシ ヨシヒト	令和7年2月23日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		平林 良仁		
8	○理事・監事	イマイ ヨシヒロ	令和7年2月23日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		今井 芳博 (旧姓:長谷川)		
9	○理事・監事	マツモト ヒロシ	令和7年2月23日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		松本 洋		
10	○理事・監事	オチアイ ヨシイチ	令和7年2月23日 ～ 令和7年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		落合 陽一		

事業報告用

11	理事・ 監事	材 功キ		令和6年1月1日	年 月 日
		太田 孝昭		~	年 月 日
12	理事 ・監事	アキ マサリ		令和7年1月1日	年 月 日
		青柳 正規		~	年 月 日
13	理事 ・監事	カイ カツコ		令和7年1月1日	年 月 日
		境 克彦		~	年 月 日
				令和6年12月31日	年 月 日
				令和7年2月22日	年 月 日
				令和7年2月22日	年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人富士山世界遺産国民会議

	氏名	
1	株式会社アトム 代表取締役社長 青井 茂	
2	キャピタル・アドバンス株式会社 代表取締役社長 青木 巖	
3	株式会社オープンハウスグループ 代表取締役社長 荒井 正昭	
4	山梨日野自動車株式会社 代表取締役社長 安田 至宏	
5	はごろもフーズ株式会社 代表取締役社長 後藤 佐恵子	
6	株式会社丸久物産 代表取締役 石坂 淳一	
7	株式会社オフィシャル 代表取締役 江上 治	
8	株式会社OAGコンサルティンググループ 代表取締役 太田 孝昭	
9	さくら共同法律事務所 所長・弁護士 河合 弘之	
10	菅原工芸硝子株式会社 代表取締役社長 菅原 裕輔	
11	株式会社不二ビューティ 代表取締役会長 高野 友梨	
12	東日本旅客鉄道株式会社 取締役会長 深澤 祐二	

	氏 名	
13	株式会社ケイミックス 代表取締役社長 橋本 圭史	
14	株式会社 FUJISEY 代表取締役社長 小口 浩子	
15	株式会社富士山 代表 平林 良仁	
16	米久株式会社 代表取締役社長 吉野 裕彦	
17	朝霧ハイランド株式会社 代表取締役 馬飼野 公洋	
18	養田 秀策	
19	株式会社 Virgin Group 代表取締役 宮澤 伸幸	
20	株式会社イー・ビー・アイ・マーケティング 代表取締役 山野 由紀	
21	分林 保弘	
22		
23		
24		
25		
26		